

丹波2050地域ビジョン 将来像の実現に向けた18の方向性ごとの地域指標

指 標		【基準年】		令和4年 (度)	令和5年 (度)	令和6年 (度) ※1	基準年と最 新年の比較 ※2	全県値との比較		出 典
名 称 等	指標の内容	令和3年(度)						全県値	評価 ※3	
<b>①森・川・里の自然再生・活用</b>										
災害に強い森づくり整備面積	森林の防災機能を強化するための集落周辺の危険木除去や、鳥獣対策のバッファゾーン整備、針広混交林整備等の整備済面積	3年度	5,127ha	5,408ha	5,728ha			-	-	県調査
<b>②景観の保全－温かくて、懐かしい丹波の景観を残す－</b>										
住んでいる地域の山や川などの自然環境は守られていると思う人の割合		3年度	55.9%	47.2%	55.2%	52.5%	↘	53.2%	▼	県民意識調査
<b>③集落保全の仕組み構築－未来へとつなぐ集落資産－</b>										
集落営農組織化集落数	集落を単位とした農業生産過程を共同で実施する組織の数	3年度	159箇所	157箇所	156箇所			-	-	県調査
ため池改修着手数	ため池の改修に着手した箇所の数	3年度	137箇所	138箇所	139箇所			-	-	県調査
ひょうご防災リーダー養成者数	地域・職場の防災活動の担い手となるリーダー養成のための講座を受講し、修了した人の数	3年度	166人	213人	216人			-	-	県調査
地域づくりの担い手が育っていると感じる人の割合		3年度	20.5%	17.9%	16.7%	12.1%	↘	-	-	県民意識調査 (丹波)
<b>④エネルギーの自律分散供給－地産地消の実現－</b>										
変 (旧：日頃から節電に取り組んでいる人の割合) 日頃から節電・省エネに取り組んでいる人の割合		3年度	76.6%	68.7%	78.4%	67.7%	↘	63.9%	⊖	県民意識調査
製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでる人の割合		3年度	50.7%	54.5%	57.0%	54.7%	↗	53.5%	⊕	県民意識調査
<b>⑤次世代都市空間の創造－懐かしくも新しい、快適なまちへ－</b>										
住んでいる地域の公共交通は便利だと思う人の割合		3年度	12.2%	15.5%	11.2%	11.4%	→	53.9%	▼	県民意識調査
住んでいる地域には、自慢したい「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合		3年度	45.6%	47.2%	47.2%	48.6%	↗	40.9%	⊕	県民意識調査
<b>⑥農の持続化・効率化とフードバリューチェーンの構築</b>										
農林業(家庭菜園や里山体験などを含む)に魅力を感じる人の割合		3年度	42.7%	40.1%	44.0%	42.6%	→	-	-	県民意識調査 (丹波)
地元や県内の農林水産業に、活気が感じられると思う人の割合		3年度	19.0%	21.8%	20.0%	19.3%	→	22.7%	▼	県民意識調査
<b>⑦ツーリズムの新展開－多様化、地元化、仮想化－</b>										
観光客入込数	期間内に丹波地域を訪れた観光客の数	3年度	4,069千人	4,590千人	4,991千人			-	-	県調査
人に紹介したい観光資源(農産物、郷土料理、まち並み、自然、祭り、人情など)があると思う人の割合		3年度	55.3%	54.4%	52.2%	61.4%	↗	-	-	県民意識調査 (丹波)
<b>⑧製品・サービスの高付加価値化－世界市場との直結－</b>										
地域資源を生かしたビジネスや地域づくりが進んでいると思う人の割合		3年度	15.0%	16.7%	23.9%	17.9%	↗	-	-	県民意識調査 (丹波)
<b>⑨シリ丹バレー構想の推進－エコシステム創出、DX化推進 起業・事業承継支援－</b>										
商売、事業を新たに始めやすい社会だと思う人の割合		3年度	8.8%	10.9%	11.7%	13.2%	↗	11.7%	⊕	県民意識調査
地域に優れた製品・技術・ブランド力をもった企業があることを知っている人の割合		3年度	36.3%	29.7%	22.4%	27.5%	↘	25.7%	▼	県民意識調査
<b>⑩多様なワークスタイルの創出</b>										
新 多様な働き方を選択しやすい社会だと思う人の割合		-	-	19.0%	18.1%	18.2%		22.7%	▼	県民意識調査
仕事と自分の生活の両立ができていると思う人の割合		3年度	74.3%	65.0%	59.5%	57.1%	↘	55.2%	⊕	県民意識調査

※1：基準年と最新年の比較は、令和3年(度)(統計結果が無い場合はその直近年度)と最新年(度)を比較し、向上を「↗」、低下を「↘」で表示。ただし、1%未満の変動は「→」で表示。  
 ※2：全県値との比較は丹波地域の値が全県値より上位のものは「⊕」、下位のものは「▼」で表示

丹波2050地域ビジョン 将来像の実現に向けた18の方向性ごとの地域指標

指 標		【基準年】		令和4年 (度)	令和5年 (度)	令和6年 (度) ※1	基準年と最 新年の比較 ※2	全県値との比較		出 典
名 称 等	指標の内容	令和3年(度)						全県値	評価 ※3	
<b>⑪多様な食農人材の集積促進</b>										
楽農生活交流人口 (交流施設利用者数)	ひょうご農林水産ビジョンに位置づけられて いる交流施設の利用人数	3年度	1,450千人	1,806千人	1,788千人			-	-	県調査
農林業(家庭菜園や里山体験などを含む)に魅力を感じる人の割合		3年度	42.7%	40.1%	44.0%	42.6%	→	-	-	県民意識調査 (丹波)
<b>⑫もりびと(担い手)の育成・発掘</b>										
学生等による地域貢献活動推進 事業の実施団体数	地域と連携して自主的な地域貢献活動を実施 している学生等のグループの数	3年度	7団体	8団体	10団体			-	-	県調査
丹波の森大学受講者数	丹波の森構想を実現するための学習の場(大 学)で受講した人の数	3年度	57人	50人	50人			-	-	丹波の森公苑調査
地域づくりの担い手が育っていると 感じる人の割合		3年度	20.5%	17.9%	16.7%	12.1%	↘	-	-	県民意識調査 (丹波)
<b>⑬ソーシャル・インクルージョンの推進ー全員活躍型社会の実現ー</b>										
社会福祉協議会登録ボラン ティア団体数	市のボランティアセンターが把握しているボ ランティア団体の数	3年度	217団体	151団体	128団体			-	-	県内社協活動の現況
ボランティアなどで社会のためになる活動 をしている、又はしてみたい人の 割合		3年度	35.2%	35.1%	36.7%	31.5%	↘	31.0%	◎	県民意識調査
新 年齢、性別、障害の有無、国籍などに 関わりなく、暮らしやすい環境が整っ ていると思う人の割合		-	-	28.0%	27.8%	29.1%		36.0%	▼	県民意識調査
男女が支え合う地域や家庭づくりが 進んでいると感じる人の割合		3年度	16.7%	13.5%	15.8%	15.7%	↘	-	-	県民意識調査 (丹波)
<b>⑭創造都市・創造農村の形成ー文化の発信力強化ー</b>										
新 伝統芸能・文化などが受け継がれて いると思う人の割合		-	-	54.7%	46.1%	50.7%		37.6%	◎	県民意識調査
<b>⑮グローバル教育、国際理解教育の実践ー世界との連携ー</b>										
丹波の森大学受講者数	丹波の森構想を実現するための学習の場(大 学)で受講した人の数	3年度	57人	50人	50人			-	-	丹波の森公苑調査
外国の文化や人々と接してみたい と思う人の割合		3年度	29.2%	35.4%	34.3%	36.9%	↗	37.5%	▼	県民意識調査
<b>⑯地域子ども・子育て応援プログラムの展開</b>										
ファミリーサポートセンター 会員数	地域で子育てを支援を受けたい人 と行いたい人が相互に援助活動 を行う会員組織の会員数	3年度	560人	527人	538人			-	-	県調査
放課後児童クラブ数	保護者が就労等し家庭にいない 児童を、放課後、保護者に代わ って保育する施設等の数	3年4月1日	33箇所	33箇所	32箇所			-	-	県調査
まちの子育て広場開設数	子育て中の親子が気軽に集い、 仲間づくりを通じ子育ての相 談や情報交換等を行う場の数	3年度	46箇所	47箇所	48箇所			-	-	県調査
新 お住まいの地域では、子どもを 見守り育てる環境があると思う 人の割合		-	-	55.5%	56.3%	51.6%		45.0%	◎	県民意識調査
<b>⑰関係人口の拡大+移住・環流の促進</b>										
田舎暮らし相談者数	丹波市及び丹波篠山市で実施 している田舎暮らし案内に係る 相談者数	3年度	1,505人	1,793人	1,626人			-	-	県等調査
Iターン者など、丹波地域以外の人 を受け入れやすい環境だと感 じる人の割合		3年度	34.1%	30.6%	33.5%	37.2%	↗	-	-	県民意識調査 (丹波)
<b>⑱次世代コミュニティの形成</b>										
住んでいる地域の公共交通は便利 だと思う人の割合		3年度	12.2%	15.5%	11.2%	11.4%	→	53.9%	▼	県民意識調査
新 ICTなどにより、どこにいても 便利に暮らせる社会になって きていると思う人の割合		-	-	39.4%	38.4%	37.6%		45.5%	▼	県民意識調査

※1: 基準年と最新年の比較は、令和3年(度)(統計結果が無い場合はその直前年度)と最新年(度)を比較し、向上を「↗」、低下を「↘」で表示。ただし、1%未満の変動は「→」で表示。  
 ※2: 全県値との比較は丹波地域の値が全県値より上位のものは「◎」、下位のものは「▼」で表示